

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和5年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	ささえ愛くらぶ～みんなで向き合い、支える”認知症”		
団体名	特定非営利活動法人ウイッシュ・プロジェクト (2004 年 1 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	231,885 円		
助成額(当初交付)	260,000 円	助成額(決算)	231,885 円
活動目的	杉並区公共施設「ゆうゆう下井草館」において、認知症、認知機能低下を正しく知り、理解を深め、一緒に生きていける地域を目指す。		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年10月～ チラシを300枚作成し、ケア24下井草の協力で手渡しやポストインなどで配布するほか、ゆうゆう下井草館やゆうゆう井草館へチラシを置き、来館される方にも周知を行った。 ・2023年10月24日 プレ講座 認知症VR体験会(参加人数30名) バーチャルリアリティで認知症の体験して理解を深める。 ・2023年11月28日 第1回 認知症サポーター養成講座(参加人数13名) 認知症の代表的な原因や症状の基本知識、接し方、認知症を支える活動の紹介。 ・2023年12月26日 第2回 認知症予防免疫力UP(参加人数17名) 栄養士の方からの栄養の話と毎日の献立に活用できる冷凍食品を試食。 ・2024年01月23日 第3回 自分の思いをまとめてみよう(ACP)(参加人数10名) 杉並区作成のエンディングノートを活用し、自分たちの思いをまとめる。 ・2024年02月27日 第4回 認知症当事者との交流会(参加人数6名) 当事者の声を聴こう 当事者の方にお話しいただく予定だったが、体調不良のため参加が叶わなかったが、古い認知症観と新しい認知症観について学んだ。 ・2024年03月26日 第5回 軽度認知症MCIを知っておこう(参加人数35名) 浴風会病院精神科の先生を講師にお招きし、軽度認知症について学んだ。 ・講座(認知症を理解する講座)の会場は、すべて「ゆうゆう下井草館」で実施した。 ・対象者は、当事者やご家族、地域の方など、関心のある方はどなたでも来ていただけるようにした。
------------------	---

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>助成金をいただき、参加費を無料にしたことで、いろいろな方に参加していただき、認知症の知識を学ぶ機会を設けることができました。認知症VR体験では、実際に認知症の方がどのように見えているのか、急に怒り出す意味、不安などの体験ができ、参加者の方々も「あんな風に見えているとは思わなかった」、「あれでは急に怒り出すのもわかる」など驚きの言葉を漏らしていました。6回ある講座のうち関心のある講座だけに参加された方もいましたが、当事者を抱えるご家族だけではなく、ボランティアで地域活動をしている方々も毎回参加して学んでくださっていました。浴風会の精神科の先生を講師でお招きした講座は、予約をされた方以外にも当日の参加が7名あり、合計35名の方が参加し、関心の高さがわかりました。まずは、認知症の正しい知識をお伝えすることができました。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>全6回の講座で認知症についての正しい知識をお伝えすることができました。 知っていただくことが第一歩であるため、令和6年4月は、地域で使えるサービスを知ってもらうために、ケア24下井草からお話をいただき、当法人からはゆうゆう下井草館の説明をいたします。現時点で27名の方からご予約をいただいています。また、地域でのひきこもり・孤立防止のため、令和6年7月からはささえ愛くらぶをリニューアルし、心身の虚弱化を防ぐためのプログラム、当事者の方や介護する側が悩み・心配ごとを共有し、地域で理解者を広げて行く開かれた対話(地域ケアとしてのオープンダイアログ)の場、専門家による講座などを取り入れ、6回1クールで実施をしていく予定です。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	260,000	231,885	謝礼金200,455円、チラシ作成30,000円、その他1,430円
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入			
	計	260,000	231,885	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	ささえ愛くらぶ～みんなで向き合い、支える”認知症”
-----	---------------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	209,950	200,455		VR認知症体験 ¥180,455円 講師謝礼(浴風会講師) ¥20,000円
			うち 助成額	200,455	
	備品・消耗品費	10,000	0		食材費は試食という形で提供し、コピー用紙などは館内の物品を使用したため、助成金を活用せず。
			うち 助成額	0	
	交通費				
			うち 助成額		
	印刷費	30,000	30,000		チラシ作成費(デザイン料含む)
			うち 助成額	30,000	
	通信運搬費	8,400	0		直接手渡し等でチラシ配布などを行ったため、助成金を活用せずに周知を行った。
		うち 助成額	0		
使用料・賃借料					
		うち 助成額			
その他経費	1,650	1,430		振込手数料440円×1件、770円×1件、220円×1件	
		うち 助成額	1,430		
		うち 助成額			
計	260,000	231,885		執行率 (決算額/予算額) 89.2%	
		うち 助成額	231,885	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	予定していた講座の順番が講師の都合などで変更になりましたが、講義内容は充実しました。バーチャル体験で認知症の方の実際に見えている様子・不安を知っていただき、講師の講演で軽度認知症が進まないためには、地域の中で理解をしていくことが大切であることを知っていただきました。年度内に地域で利用できるサービスをお知らせすることができなかったため、次年度の講座でお知らせをします。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	「認知症の人を理解できるよい機会になった」、「バーチャル体験では目から鱗だった。母を介護していた時にあのように見えていたのだとわかった」、「介護をしていた時に知っていれば対応が違ったと思う」、「自分もいつ当事者になるかわからないため周りの人の理解は必要だと思った」、「実際に介護をしているため理解をしようと思い参加した」など様々なお声がありました。
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
認知症の正しい知識を知っていただくことができたことで、認知症への理解が進み、周りの方がちょっとした優しい気持ちを持つことで当事者が暮らしやすい地域作りの第一歩になりました。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
普段、ゆうゆう下井草館を使用したことのない方も多く来館され、近くにこんな公共施設があるんだと驚いていた方もいて、問い合わせなどが多くなりました。	
その他	問8 自由意見
	ひきこもり・孤立防止の支援を目的として、お互いさまで暮らせる地域作りの実現のため、認知症を理解していただくための講座を開催しました。知ることで気づき実践に繋がっていただけるとのよう、今後も引き続き啓発活動を行っていきたいと思います。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和5年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	誰でも座れる椅子を井草地域に設置する活動		
団体名	いぐさの赤い椅子 (R4年 7月会則制定)		
活動費 (事業終了後確定額)	67,804 円		
助成額(当初交付)	66,000 円	助成額(決算)	66,000 円
活動目的	誰もが安心して外出できるまちづくりを目指す。 街中に椅子を置くことで、高齢者や小さなお子様連れでも安心して街にでかけられる環境をつくる。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>R5年</p> <p>04/10(月) 定例活動 寄付の椅子の回収、リメイク作業</p> <p>05/10(水) 定例活動 ベンチ他2脚完成 信用金庫他へ設置</p> <p>06/07(水) 定例活動 下井草駅用のベンチ他3脚リメイク作業</p> <p>07/05(水) 定例活動 連絡会</p> <p>07/16(日) 桃5小学校 盆踊り会場に休み処として赤い椅子の設置協力</p> <p>08/02(水) 定例活動 駅用ベンチ完成、時計店他に椅子を設置</p> <p>09/14(木) 中瀬中体験学習に協力 中学生と一緒に赤い椅子点検(11脚)</p> <p>10/02(月) 西武線下井草駅にベンチ設置(西武鉄道、区職員同席)</p> <p>10/04(水) 定例活動 イベント出張用の椅子4脚リメイク作業</p> <p>10/12(木) イベント用の椅子を完成作業</p> <p>10/14(土) AM: 下井草こどもプラザ主催 ハロウィンワークへ椅子の設置協力 PM: 中瀬中学フェスタ 校庭に休み処として赤い椅子の提供協力</p> <p>10/21(土) 八成ひと時保育主催 ハロウィンワークへ椅子の設置協力</p> <p>11/01(水) 定例活動 クリニック向けの椅子他のリメイク作業</p> <p>11/04(土) どっか〜ん祭りに休み処として赤い椅子の提供協力</p> <p>11/29(水) 社協主催のボラセンチャレンジ説明会で登壇し活動紹介</p> <p>12/03(日) 井草の森公園 プレーパーク【のびっば広っぱ】に赤い椅子の提供協力</p> <p>12/06(水) 定例活動 椅子のリメイク作業</p> <p>R6年</p> <p>01/07(日) 井草の森公園 プレーパーク【のびっば広っぱ】に赤い椅子の提供協力</p> <p>01/10(水) 連絡会</p> <p>02/04(日) 井草の森公園 プレーパーク【のびっば広っぱ】に赤い椅子の提供協力</p> <p>02/07(水) 雪の為 定例活動中止</p> <p>03/03(日) 井草の森公園 プレーパーク【のびっば広っぱ】に赤い椅子の提供協力</p> <p>03/06(水) 定例活動 雨天中止</p> <p>03/09(土) 定例活動(振替分) 椅子のリメイク作業</p>
------------------	--

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は新たに8脚の椅子を設置することができた。 特に下井草駅北口に設置できたことは地域の周知に大きく影響するものとなった。 高齢者のみならず、子供、赤ちゃん連れ、サラリーマンなど世代を超えて利用されている。 地域のイベントに休み処として 椅子を提供する声掛けを頂き、小学校の盆踊りをはじめ地域のイベントに「休み処赤い椅子」として出張提供し、多世代の交流に発展する事が出来た。 設置済みの椅子の点検を実施、小さな傷やシールの剥がれを確認し、修理。設置後の椅子の傷みなど、スタッフで共有でき、スタッフの責任感も向上している。 認知面の低下から引きこもりがちになっていた高齢者に声をかけてペンキ塗りの作業を手伝ってもらった。本人がとてもイキイキと活動に参加している。
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<ul style="list-style-type: none"> 椅子を置かせてくれる場所が頭うち。私有地以外の場所の設置可能性を模索中。 椅子の提供が多くあり、引き取り時の車出し要員が一人しかいないため、負担になっていること。 保管場所がいっぱいになってきている事。 設置した椅子での事故にどう対応するのかがメンバーみんなの心配事。 → 適応できる保険が見つかったので令和6年度に加入する予定。 多世代に認知され、共有できる活動を目指す。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	66,000	66,000	チームビブス作成 23枚
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入	1,804	1,804	
	計	67,804	67,804	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	誰でも座れる椅子を井草地域に設置する活動
-----	----------------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち 助成額		
謝礼金等		うち 助成額		
備品・消耗品費	33,000	うち 助成額	33,000	当初15枚の予定だったが、チームメンバーが増えたため、作成枚数を増やす必要が生じ、合計で23枚作成した。イベント時にボランティアにも着用してもらう場面が生まれている。
交通費		うち 助成額		
印刷費	32,560	うち 助成額	32,560	作成枚数の変更、デザインの変更を重ねたことにより、ピブス作成業者からの金額提示がトータルでの価格となり、費目別の金額を出すことが困難となったため、全てを一括りにした金額として計上させていただきます。
通信運搬費		うち 助成額		
使用料・賃借料		うち 助成額		
その他経費	440	うち 助成額	440	作成枚数の変更、デザインの変更を重ねたことにより、ピブス作成業者からの金額提示がトータルでの価格となり、費目別の金額を出すことが困難となったため、全てを一括りにした金額として計上させていただきます。
その他の収入	1,804	うち 助成額	0	作成枚数の変更、デザインの変更を重ねたことにより、ピブス作成業者からの金額提示がトータルでの価格となり、費目別の金額を出すことが困難となったため、全てを一括りにした金額として計上させていただきます。
計	67,804	うち 助成額	66,000	執行率 (決算額/予算額) 100.0% 予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

支出

活動名	誰でも座れる椅子を井草地域に設置する活動
-----	----------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
効果・成果	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。 ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 メンバーの増員により、作成枚数を増やす必要が出たため、ビブス両面に予定していた印刷を前面のみに変更するなど、デザインの見直しが必要になり、完成が遅くなってしまったため、R5年中のイベントでは着用の機会が予定より少なくなってしまうが、R6年になり着用している。
効果・成果	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 「大人が椅子に座ることで子供から離れて客観的に見られ、子供同士の交流に繋がってきている」(イベント主催者) 「イベント会場で椅子の責任者が明確になり主催者が安心できる」(イベント主催者) 「買物に行く途中の〇〇にも椅子をおいて欲しい」(地域住民) 「イベントの時にビブスは目立ち、チームモチベーションもあがる」(スタッフ)
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。 設置した椅子に 子供連れや高齢者、サラリーマン風の人も座っている。 サラリーマン風の人も、年代を問わず利用されていると実感している。
その他	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。 プレイパークなどのイベントに参加の際に、椅子の管理者(スタッフ)であることが参加者に一目瞭然で、安心してもらえる。活動についての問い合わせなど、直接声をかけてもらえる。
	問8 自由意見 ビブスを作成することで団体の使命感が上がり、活動の幅が広がりつつある。地域に根付く活動にするには、活動時に団体の名前や、団体自体を認識してもらい必要があり、今回作らせていただいたビブスは今後の活動に大きな後押しになると確信しています。貴重な助成金を継続的な活動に役立てることをお約束します。ありがとうございました。